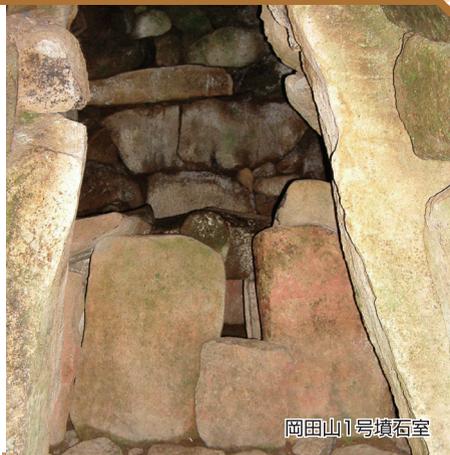


山陰の古墳

山陰の古墳

改訂版

～古代ロマン探訪～



岡田山1号墳石室



長瀬高浜遺跡出土埴輪



上塩治地藏山古墳

殿山古墳



山代方墳石室内 石床



史跡整備ネットワーク会議
事務局

島根県教育庁文化財課 〒690-8502 島根県松江市殿町1番地
TEL.0852-22-5880 FAX.0852-22-5794
鳥取県地域づくり推進部文化財局 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目220
とっとり弥生の王国推進課 TEL.0857-26-7932 FAX.0857-26-8128



山陰史跡整備ネットワーク会議

検索

史跡整備ネットワーク会議



こちらからPDF版をダウンロードできます。

山陰の古墳

はじめに

山陰両県の古墳は消滅したものや未確認のものを含めると18,700基を超えると推定されます。一口に古墳といってもその内容は多種多様で、地域や時期によっても細部は異なります。

ガイドブック第2巻では史跡指定された古墳や各地域で特徴的な古墳を紹介しています。本巻を片手に現地を訪れていただき、地域の歴史や古墳文化に親しんでいただければ幸いです。

古墳時代とは

3世紀後半から7世紀前半にいたる約400年間は、日本列島各地でおびたしい数の古墳が築造されたことから、古墳時代と呼ばれています。古墳は弥生時代以降の地域社会の発展を受け継いで、列島各地の首長(王)が、大和の政権(大王)と政治的な連合を結んだ結果、その証として墳墓形態などの葬送儀礼を共有した結果、生まれたものと考えられています。

古墳は周溝(濠)に囲まれ、葺石・埴輪などの外表施設を備えた土盛(墳丘)内に、石室などの埋葬施設を設け、多種多様な副葬品とともに死者を厚く埋葬した墓です。長期間にわたって造営され続けた古墳は、その形態や埋葬施設・副葬品等の変化を目安として、前期・中期・後期と終末期に区分され、地域ごとの特徴を比較することができます。

古墳のかたち

墳丘の平面形には、円墳と方墳を基本として、それを組み合わせた前方後円(方)墳や、前方部の短い帆立貝式古墳などの種類があります(図1)。さらに、墳丘を持たない横穴墓や地下式横穴なども古墳の仲間に含まれます。また、墳丘の表面はびっしりと石で覆われ(葺石)、頂部や裾部には形象埴輪や円筒埴輪などを立て並べて、古墳を壮麗に見せていました。

埋葬施設の違い

墳丘内には、遺体を納めた木棺や石棺を直接埋めたり、棺を納める埋葬施設(竪穴系)がつくられました。時代が下ると棺を安置する横穴式石室などの埋葬施設(横穴系)がつくられるようになりました。竪穴系埋葬施設が原則としてひとりの死者を埋葬するのに対して、横穴系の埋葬施設は死者を次々と追葬することが可能でした(図2)。

さまざまな副葬品

埋葬にあたっては、身につけた装飾品や日用品、あるいは埋葬儀礼に用いられた品々が、副葬品として納められています。こうした副葬品には、勾玉・管玉などの玉類や青銅製の鏡、剣や甲などの鉄製武器・武具や供物を入れた土器類など、多種多彩なものがありました。

古墳の変遷

【前期】

地域ごとの特徴がみられる弥生墳丘墓が造られなくなり、奈良県・箸墓古墳を最古とする統一的な前方後円墳が全国に出現します。山陰地方では古墳時代初め頃には方墳が造られ続け、前期後半になって東伯耆・因幡・石見で最初の前方後円墳、出雲・西伯耆では前方後方墳が造営されます。

【中期】

全国的には古墳の規模がピークを迎える傾向があり、伯耆・因幡でも規模が最大となって、三大河川それぞれに全長90~110mの大型前方後円墳が出現します。出雲や隠岐地方でも前方後円墳が出現します。

【後期】

出雲地域では最大の前方後円(方)墳(90m級)が造営されます。全国的に小規模古墳からなる群集墳が出現し、横穴式石室・横穴墓が普及して家族墓としての性格が強くなります。また、出雲の石棺式石室、因幡の中高式天井石室など、地域ごとの個性が顕著になります。

【終末期】

新たな前方後円墳が造られなくなり、古墳時代も終焉を迎えます。梶山古墳、山代方墳のように精緻で特殊な構造を持つ終末期古墳が限定的に造営されます。

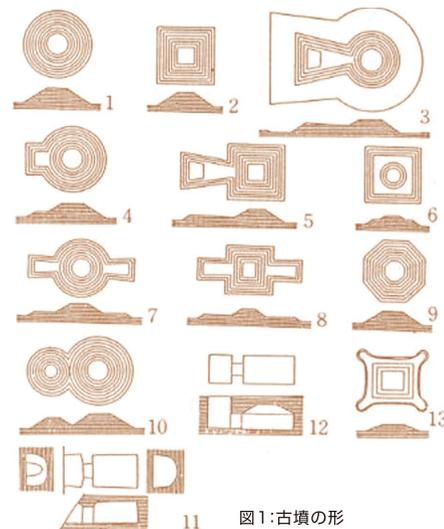


図1:古墳の形

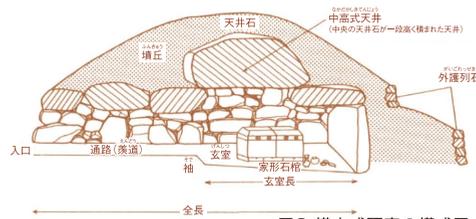


図2:横穴式石室の模式図



山代方墳石室



斜面に築かれた横穴墓群(米子市陰田横穴墓群)

石見の古墳

石見地域では

4世紀初め頃から古墳が造り始められ、四塚山1号墳(消滅、益田市)では三角縁神獸鏡が発見されています。その後、石見西部を中心に6世紀前半まで大型の前方後円墳が造られます。6世紀後半になると小地域ごとに横穴式石室を持つ古墳が造られるようになります。これらの中には、高野山古墳群(江津市)、やつおもて古墳群(浜田市)、鶴ノ鼻古墳群(益田市)のような数十基からなる古墳群もあります。一方、大田市や邑智郡、益田市周辺などでは、横穴墓が造られています。7世紀になると横穴式石室の数は大幅に減少し、片山古墳(浜田市)などがわずかに確認されています。

時期	石見		
	西部	中部	東部
前(四世紀)	四塚山 大元1号		中山1号
中(五世紀)	スクモ塚	周布	
後(六世紀)	小丸山 37号 鶴ノ鼻	めんつもと めんくろ	明神 野伏原
終末(七世紀)	片山 50号	空山	



6~7世紀の石見地方の古墳の分布

石見の古墳

おおもとこふん

◆大元古墳◆ 石見最古の大型前方後円墳

国指定

益田市遠田町大元

前方後円墳と円墳で構成される古墳群で、1号墳は全長85mの石見最大の古墳です。また、石見で最初に造られた前方後円墳で、大和政権とつながりを持ち益田に君臨した首長の墓と考えられます。



JR 益田駅からバス20分「中遠田下車」
徒歩20分

すくもづかこふん

◆スクモ塚古墳◆ 石見を代表する謎の大型古墳

国指定

益田市久城町須久茂塚

大元1号墳の次に造られたと考えられる益田の首長墓です。全長約100mの前方後円墳という見方と、造出しの付いた円墳と方墳が並んでいるという見方があります。古墳近くには駐車場があり、夏には古代ハスも見ることができます。



JR 益田駅からバス20分「スクモ塚」
下車徒歩3分

こまるやまこふん

◆小丸山古墳◆ 益田平野を見わたす前方後円墳

市指定

益田市吉吉町

全長66mの前方後円墳です。鏡や馬鐙、鈴杏葉(山陰で初)などの馬具が出土しています。現在、公園として分かり易く整備されています。



鈴杏葉(すずぎょうよう)



JR 益田駅からバス10分「今市下車」
徒歩10分

うのはなこふんぐん

◆鵜ノ鼻古墳群◆ 石見最大の群集墳

県指定

益田市遠田町下遠田

日本海に突き出た台地の上に横穴式石室を持った古墳がたくさん造られています。

以前は50基以上もあった大古墳群で、現在は全長約30mの前方後円墳など一部が保存されています。



JR石見津田駅下車 徒歩15分



すぶこふん

◆周布古墳◆ 先進地域周布の首長墓

国指定

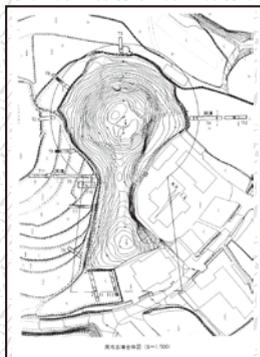
浜田市治和町三宅

石見中央部最大の前方後円墳で、全長76m、後円部の高さは約7mもあります。また、発掘調査によって古墳の周りに幅約7mの溝が巡っていることが分かっています。古くから知られた古墳で「おんくろ」「ひさご塚」などの別名があります。

周布古墳の周辺では、県内最古の横穴式石室を持つめんぐろ古墳や、石見で最初に須恵器が焼かれた日脚遺跡などほかにも重要な遺跡が確認されています。



JR周布駅下車 徒歩15分



かたやまこふん

◆片山古墳◆ 子孫は寺院を建立か？ 市指定

浜田市下府町片山

奈良時代に石見国府が置かれたと考えられている浜田市下府に造られた古墳で、明治時代にイギリス人の考古学者ガウランドが調査を行っています。石見地方では最も新しい時期に造られた終末期古墳で、近くにある下府廃寺の建立者との関係が注目されています。



JR下府駅下車 徒歩25分



石見の古墳

たかのやまこふんぐん

◆高野山古墳群◆ 日本海の眺めは最高

市指定

江津市二宮町・千田町・敬川町

標高約280mの高野山を中心に40基以上の古墳が造られています。ほとんどが直径10m前後の小型円墳ですが、高野山火塚には全長約7mの横穴式石室があります。このほか空山1号墳は市の史跡に指定されています。



JR江津駅から車15分



のぶしばらこふん

◆野伏原古墳◆ 江の川上流を支配した豪族の墓

町指定

邑南町雪田

石見山間部屈指の規模の横穴式石室を持つ古墳で、県内唯一の三累環頭大刀が出土しています。現在大刀は、邑南町郷土館に保管されています。



JR口羽駅から車20分

ねんのきだによこあなくん

◆榎ノ木横穴群◆

公園になった横穴墓群

大田市仁摩町

安養寺古墳の実大模型と併せて仁摩健康公園古墳ゾーンとして整備されています。



みょうじんこふん

◆明神古墳◆ 代官も気になった

県指定

大田市仁摩町仁万

仁万平野北東の砂山の上にある直径約20mの円墳です。発掘調査により石見地域最大の横穴式石室と家形石棺、金銅装円頭大刀や銅鏡など優れた副葬品が、多数出土しました。江戸時代に石見銀山の代官が発掘した記録が残っています。



JR仁万駅下車 徒歩15分



出雲の古墳

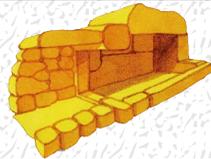
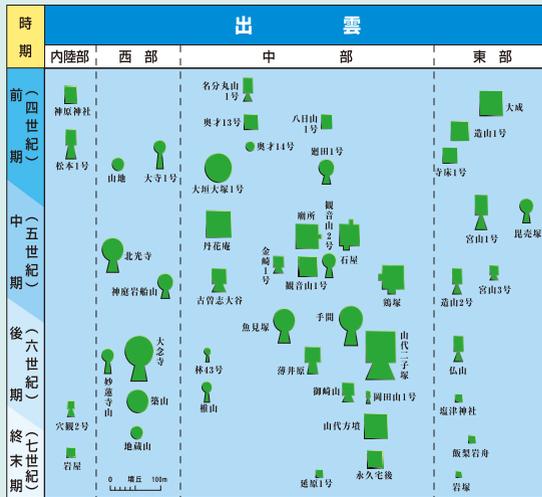
出雲地域では

4世紀前半になると安来市荒島町周辺を中心とする中海沿岸と、斐伊川中流域(雲南市)に相次いで前方後方墳や方墳が出現します。

荒島町は弥生時代から大型の四隅突出型墳丘墓が造られた地域で、これらに継続する大成古墳や造山1号墳は、出雲東部を治めた大首長の墓に相応しい規模を誇る大型方墳として知られています。弥生時代に西谷墳墓群が造られた出雲西部では後続する有力な古墳は造られず、景初三年銘の三角縁神獸鏡で有名な神原神社古墳など新たな勢力が台頭します。

4世紀末になると埴輪や葺石をもつ前方後円墳や円墳も出現し、6世紀前半までには各地域に40~50m級的大型古墳が造られるようになります。墳形の多様化や大型古墳の分布の拡大など、勢力の均衡化が進んだ様子がうかがえます。

6世紀中頃になり、突如として90m超級の山代二子塚古墳・大念寺古墳が出雲東西に出現すると、他地域では次第に際立った古墳は造られなくなり、小規模古墳や横穴墓しか見られなくなります。



両袖式横穴式石室は、出雲西部によく見られ、割石や切石で造るものがある



石棺式石室は出雲東部を中心に分布し、横口式家形石棺を祖形に独自に発展したものの。

〈神戸川右岸の古墳 今市・塩冶古墳群〉

今市町から上塩冶町の一帯は、出雲西部域を治めた大首長の墓が分布します。大念寺古墳・上塩冶築山古墳・地蔵山古墳と続く歴代の最高首長墓のあり方は、ほぼ同時期に出雲東部に現れる山代二子塚古墳などと対比され、出雲の東西地域に拮抗する勢力が存在したことを物語っています

だいねんじ こふん

◆大念寺古墳◆ 大迫力！石棺の大きさは日本一

国指定

出雲市今市町鷹ノ沢

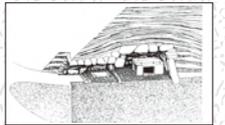
出雲市駅の東500mにある大念寺の裏山に所在します。全長92m程の前方後円墳であり、松江市の山代二子塚古墳とともに県内最大規模の古墳です。墳丘は黒色と茶色の土層を交互に盛る高度な土木技術が使用されています。横穴式石室は13m程の規模で、奥室には全国最大の家形石棺が、前室には組合せの石棺が置かれています。石室は江戸時代に開口し、大刀、金銅製履、馬具等の副葬品が発見されました。

築造時期は6世紀中頃と推定され、出雲西部一帯に勢力をもった豪族の墓です。



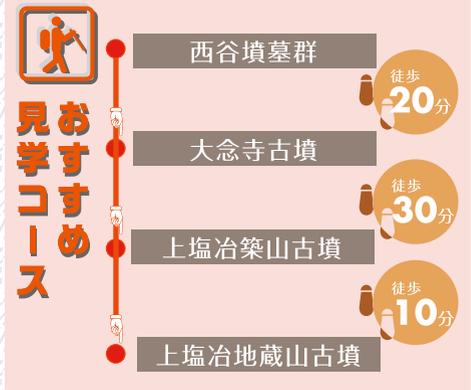
ここに注目!

石室の天井石や奥壁の切石の巨石を見ると、石室の構築方法や古墳の大きさが実感できます。



大念寺古墳石室

JR山陰本線出雲市駅から 徒歩7分、駐車場あり(無料)



おすすめコース

- 西谷墳墓群 徒歩 20分
- 大念寺古墳 徒歩 30分
- 上塩冶築山古墳 徒歩 10分
- 上塩冶地蔵山古墳

かみえんやつきやま こふん

◆上塩冶築山古墳◆ 究極の横穴式石室と豪華な副葬品

国指定

出雲市上塩冶町築山

塩冶社参道南方の平地に所在する径46mの大型円墳で、円筒埴輪、子持壺が出土しています。横穴式石室は奥行き15m程で、県内では最大級の規模です。石室の各壁は切石からなる精美なつくりで、玄室には大小の2個の横口をもつ家形石棺が置かれています。石室の開口は明治20年(1887)で、玉類、金銅冠、円筒大刀、馬具、須恵器等多くの副葬品が発見されました。総てが優品で、県指定文化財になっています。

築造時期は6世紀後半と推定され、大念寺古墳の被葬者の跡を継いで出雲西部に君臨した豪族の墓と考えられます。



家形石棺の加工や、石室壁石の積み方を観察すると
ココに注目! 当時の技術の高さに驚かされます。



墳丘測量図



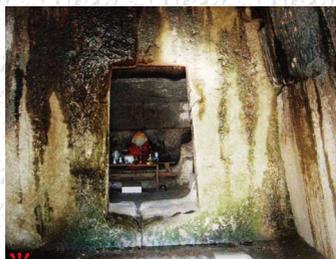
かみえんやじぞうやま こふん

◆上塩冶地藏山古墳◆ 精巧な造りに地藏さんもビックリ

国指定

出雲市上塩冶町池田

出雲工業高校グラウンドの入口付近に所在します。墳丘は小規模で、盛土が流れているため、墳形は定かではありません。横穴式石室は全長8m程の大きさで、凝灰岩の切石で構築されています。玄室は奥室と前室からなり、奥室は天井、側壁とも一枚の切石で組まれ、内部に家形石棺と石床が置かれています。石棺内には、地藏尊が祀られています。副葬品は、開口が古く、不明です。築造時期は石室構造より7世紀初め頃と考えられます。



玄室の天井石や壁石の組み方、石棺や石床の配置を見ると正確に設計された様子が分かります。



JR出雲市駅から車で5分

〈神戸川左岸の古墳 —古志古墳群—〉

神戸川左岸の古志町周辺には、妙蓮寺山古墳・放れ山古墳・宝塚古墳・大梶古墳が相次いで造られました。墳丘や埋葬施設、副葬品などから、最高首長を補佐した歴代有力者が葬られたと考えられます。

◆宝塚古墳◆

たからづか こふん
精美に加工された片袖式の横穴式石室 国指定

出雲市下古志町上組

出雲西高校の東側の平地に造られた古墳で、墳丘は削られ、墳形は分かりません。切石からなる横穴式石室が残り、玄室には家形石棺が置かれています。石室は古くから開口しており、副葬品は不明です。



はなれやま こふん

◆放れ山古墳◆ アーチ型の横穴式石室を持つ古墳

国指定

出雲市古志町新宮

小さな円墳で、横穴式石室は切石をブロック積みにした精美なものです。玄室には石床が3体分残っています。副葬品には大刀、馬具等があり、6世紀後半に築造されています。

JR出雲市駅からバスで15分



みょうれんじやま こふん

◆妙蓮寺山古墳◆ 特徴的な閉塞石が今も残る

国指定

出雲市下古志町妙蓮寺山

妙蓮寺山に築かれた49mの前方後円墳です。割石や自然石からなる横穴式石室があり、玄室には家形石棺が、玄門には切石2枚からなる閉塞石が残っています。大刀、馬具、鈴釧等が副葬された6世紀中頃の古墳です。



家形石棺は横口を2枚の板石で塞ぎ造りになっています。また、玄門にある閉塞石は、観音開きになる珍しい構造となっています。

JR西出雲駅から歩いて20分



おおかし こふん

◆大梶古墳◆ こんなところにも古墳が!

出雲市古志町本郷



住宅地の中にひっそりと残る古墳。切石の横穴式石室で、基部が残っていません。出土品には金環があります。

JR西出雲駅から歩いて5分



宝塚古墳	徒歩15分
妙蓮寺山古墳	徒歩15分
放れ山古墳	徒歩15分
大梶古墳	徒歩15分

〈出雲玉作跡周辺の古墳〉

玉造温泉街の周辺にも、見学できるおもしろい古墳が集まっています。特に、石棺が特徴的で、整備された出雲玉作跡や玉作資料館と合わせての見学がおすすめです。

とくれんば こぶん
◆徳連場古墳◆ 玉作工人と関連？ 国指定
松江市玉湯町玉造徳連場

玉作資料館近くの小円墳。「舟形石棺」と呼ばれる石棺が露出しています。蓋は1枚、身は2枚の石を削り抜いて作っています。



JR玉造温泉駅下車 バス10分 史跡公園入口下車徒歩5分



たまつくりつきやま こぶん
◆玉造築山古墳◆ 特異な形の舟形石棺を持つ古墳 県指定
松江市玉湯町玉造大門

温泉街西側の集落内にある古墳。特徴的な縄かけ突起がついた舟形石棺が2つ露出しています。蓋と身の合わせ方が印ろう式で、丁寧に作られています。



JR玉造温泉駅下車 バス10分

いわやじあと よこあなぐん
◆岩屋寺跡横穴群◆ 複室構造の横穴墓 国指定
松江市玉湯町玉造岩屋

温泉街西側の山の中に、岩を掘り込んだ横穴墓が2つ並んでいます。ともに丁寧に加工しており、古代の技術に感嘆します。



岩屋寺跡横穴群は巨大な岩盤に掘られています。ちょっと後からまわりこんでこの岩の上に登ってみましょう。ちょうど人が入るくらい大きさで、岩が舟形に削り込まれているところがあります。古墳時代の石棺と考えられています。

JR玉造温泉駅から車で10分

◆出雲玉作資料館◆ 「古代玉作」に関する国内唯一の資料館

玉湯町の花仙山は、首飾りの玉材となるめのうを産出することで有名。周辺の遺跡では弥生時代から平安時代まで、勾玉などを作りつけ、全国各地に送り出していました。この資料館ではそうした玉作遺跡から出土した玉の未成品や砥石などの工具を展示しています。

JR玉造温泉駅からバス10分、史跡公園入口下車徒歩10分



〈王陵の丘周辺の古墳〉

安来市の西郊、荒島町周辺には古墳時代前期を中心に、大型古墳が集中して作られています。主なものは古代出雲王陵の丘として整備され、見学しやすくなっています。

つくりやまこぶん おおなりこぶん
◆造山古墳群・大成古墳◆ 全国最大級！前期の大型方墳群 国指定
安来市荒島町造山 安来市荒島町大成

荒島駅近くのJR鉄道南丘陵上には、大成古墳、造山1号墳、造山3号墳と、古墳時代前期の4世紀頃的大型方墳が次々と造られました。内部の埋葬施設は、いずれも長大な木棺の周りを石で囲んだ竪穴式石槨で、銅鏡などが副葬されていました。その後6世紀には全長50mの前方後方墳(2号墳)が作られ、多数の埴輪が出土しています。

JR荒島駅から徒歩15分



造山2号墳(下)と出土した埴輪(上)

しおつやま1こぶん
◆塩津山1号墳◆ トンネルの上の古墳 国指定
安来市久白町塩津

山陰道(安来道路)のトンネルの上に保存されて整備されている古墳です。古墳時代前期の方墳で、平野側の斜面に石をはって墳丘を飾っています。



塩津山1号墳は四角い方墳。でもちょっと角の部分に注目して下さい。古墳の裾が弓なりに反って、コーナーが飛び出した感じに見えます。これは弥生時代後期の出雲のシンボル、四隅突出型墳丘墓の名残と考えられています。



古代出雲王陵の丘

ちゅうせんじ ふんぼぐん
◆**仲仙寺墳墓群**◆ 元祖！四隅突出型墳丘墓 **国指定**

安来市西赤江町

古墳時代の直前、山陰では四角い墳墓のコーナーが突出した不思議な形の墓が多くつくられました。「四隅突出型墳丘墓」と呼ばれるこの墳墓をメジャーの座に押し上げたのが仲仙寺墳墓群。現在安来三中の裏山に宮山支群3号墳が、神塚団地の中に仲仙寺8号墓、9号墓が保存整備されています。



JR荒島駅からバス5分 安来三中前下車徒歩5分

しおづじんじゃ こふん
◆**塩津神社古墳**◆ 大型の石棺式石室が露出 **市指定**

安来市久白町

塩津山1号墳の下、神社の横に大きな石室が露出しています。巨大な家形石棺をそのまま石室にした、石棺式石室で、出雲東部に多く分布しています。この古墳は同種の石室でも最大級。



JR荒島駅から徒歩20分

おすすめの見学コース

- 造山古墳群 徒歩 15分
- 大成古墳 徒歩 20分
- 塩津山古墳 塩津神社古墳 徒歩 15分
- 宮山・仲仙寺墳墓群

ひめづか こふん
◆**毘売塚古墳**◆ 「出雲国風土記」の神話伝承が残る前方後円墳 **県指定**

安来市黒井田町浜垣

安来駅裏、日立金属工場の東の山の頂上に造られた全長約50mの前方後円墳。発掘調査で、舟形石棺が見つかっています。「出雲国風土記」に記された、ワニに殺された娘の墓という伝承が残っているロマンあふれる古墳。ただ、残された人骨は男性だったといわれています。



JR安来駅から徒歩5分



いいなしいわふね こふん
◆**飯梨岩舟古墳**◆ 見応え十分な石棺式石室 **国指定**

安来市岩舟町岩屋

丘陵山腹に位置します。盛土は流失し、石棺式石室と呼ばれる横穴式石室が露出しています。玄室の天井石の内外面とも家形に加工されています。内部には刳り抜きの石棺の身と蓋片が各1個残っていますが開口が古く、副葬品は不明です。



JR荒島駅から車で10分

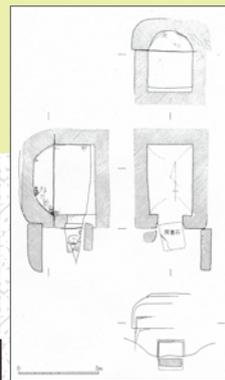
じゃこづか こふん
◆**若塚古墳**◆ 終末期のコンパクトな石室 **市指定**

安来市久白町

丘陵上に位置します。一辺11mの方墳で、横穴式石室は家形石棺の横口に羨道部を設けたものです。終末期の古墳で、7世紀中頃に築かれたと推定されます。開口が古く、副葬品は不明。



JR荒島駅から徒歩30分



やた こふんぐん
◆**矢田古墳群**◆ マニアにはおすすめ **市指定**

安来市久白町

古墳群や横穴墓が幾つかのグループに分かれて分布しています。古墳には竪穴式石槨をもつものがあります。横穴墓には、刳り抜きや組合せ式の家形石棺を内蔵するものも知られています。



JR荒島駅から車で15分

ひゅうがみねこふんぐん もりきみねこふんぐん
◆**日向峰古墳群・森木峰古墳群**◆ 見て、遊んで、楽しめる公園の古墳

安来市伯太町横屋・安来市伯太町赤屋

伯太川の上流の公園「上の台緑の村」にある古墳群。日向峰古墳群には12、13m程の小さな前方後円墳が1基あり、また、近くの森木峰古墳群には横穴式石室が露出しています。山の上に築かれた古墳群として注目されています。



JR安来駅から車で30分



やすぎしれきしりょうかん
◆**安来市立歴史資料館**◆

富田城跡の西麓に所在します。安来市内の遺跡や古墳から出土した遺物が多く展示してあります。また、中近世の歴史資料も見ることが出来ます。



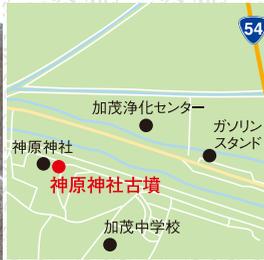
JR安来駅から車で30分

かんばらじんじゃこふん
◆**神原神社古墳**◆

三角縁神獸鏡は卑弥呼の鏡？

雲南市加茂町神原

赤川沿いの低地にある前期古墳で、昭和47年に発掘調査が行われました。1辺約30mの方墳で、竪穴式石槨に割竹形木棺の痕跡が残っていました。副葬品には景初三年銘の銅鏡や刀剣、農工具類等があり、重要文化財に指定されています。現在、石槨は神社境内に移築されています。



JR:木次線加茂中駅下車 徒歩25分
自動車:国道54号線ラメールの交差点赤川沿いに神原神社へ

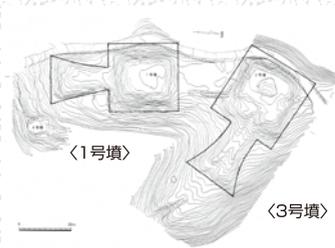
まつもと 1ごうふん
◆**松本1号墳**◆

数少ない前期の前方後方墳

県指定

雲南市三刀屋町給下

三刀屋川左岸の低丘陵に築かれた前期古墳で、昭和37年に発掘調査が行われました。全長50mの前方後方墳で、後方部に粘土で木棺(割竹形と箱形)を覆った2基の埋葬施設が確認されました。副葬品としては、鏡、ガラス小玉、刀子、土器等が出土しています。また、北側にも同規模の前方後方墳(3号墳・市指定)が存在します。この古墳群により、斐伊川中流域に、勢力をもつ豪族がいたことが知られます。



松江自動車道三刀屋木次ICから車で5分

かんばいわふねやま こふん
◆**神庭岩船山古墳**◆

斐川町最大の前方後円墳

県指定

斐川町神庭

莊原小学校校庭にある前方後円墳で、全長60m程と推定されます。後円部頂部には舟形石棺が残されており、中期の代表的な古墳の1つです。副葬品は不明。



舟形石棺の蓋に作り出された縄掛け突起は丸く、四角いものより古い様相と言えます。



湯の川道の駅から車で5分

びくにづか こふん
◆**比丘尼塚古墳**◆

典型的な山間部の横穴式石室

町指定

飯南町八神

神戸川の河岸段丘に築かれた径13mの円墳で、山側には幅5mの周溝が巡っています。横穴式石室は全長7.5mの細いもので、玄室と羨道との区別が無いものです。内部には、土砂が多く堆積しているため、構造は分からないものの、側壁は小さい割石や自然石を積んでいます。奥壁は大きい石を1枚置き、周りは小石で補っています。神戸川上流域では最大級の古墳です。開口は古く、出土品は知られていません。築造時期は7世紀前半と推定されています。



飯南町頓原庁舎から車で15分

いわや こふん
◆**岩屋古墳**◆

奥出雲を支配した豪族の奥津城

町指定

奥出雲町高田

高田廃寺の東側にある谷奥の山腹に位置しています。墳丘は径15m程の大きさですが、墳形は分かりません。横穴式石室の長さは7m程で、玄室の側壁・天井石は花崗岩の一枚石で構成されています。副葬品は、開口が古く、不明。築造時期は7世紀前半と推定されています。



JR亀嵩駅から車で5分

じょうらくじ こふん
◆**常楽寺古墳**◆

発掘された埴輪は粒ぞろい

奥出雲町高田

高田小学校の近くにある古墳。墳丘はなく、横穴式石室が露出しています。発掘調査により石室の前庭付近から馬形埴輪1、男子人物埴輪3、女子埴輪2、円筒埴輪14以上が発見されています。馬形埴輪には馬具が付き、女子の1体は土器をもっています。時期は6世紀中頃と推定されています。



JR亀嵩駅から車で5分

こだいずもれきしはくづつかん
◆**古代出雲歴史博物館**◆

平成19年3月10日に、出雲大社の東隣に開館しました。古墳時代はもちろん、特徴ある島根の歴史を原始から近代まで通史的に見れる総合展示で、出雲大社の巨大柱、日本最多の銅剣・銅鐸、そして唯一完本の『出雲国風土記』の世界をテーマ別展示で紹介しています。さらに、映像や音響を駆使して、出雲神話を体感できる神話展示もおおすすめです。



出雲大社境内遺跡出土の宇豆柱



JR出雲市駅から車で20分

隠岐の古墳

隠岐地域では

島前・島後からなる隠岐の古墳は、すでに消滅したのものも含めると400基以上を数え、円墳が多いのが特徴です。

島前で確認された最も古い古墳は、4世紀後半頃の新聞1号墳(海士町)で、その後も湾に面した平野を望む丘に古墳が造られました。一方、島後で古墳が出現するのは5世紀頃と考えられ、八尾川・重栖川流域に多く築かれます。八尾川下流域では6世紀になると7基の前方後円墳が集中的に分布しています。この地域を治めた有力者の墓が連綿と築かれたこの一帯は、奈良時代には隠岐国府が置かれるなど、政治の中心地として重要な地域だったことがうかがえます。

島前・島後ともに6世紀後半から7世紀につくられた横穴墓が多いのも特徴の一つです。



時期	隠岐
前(四世紀)	甲ノ原2号
中(五世紀)	道原谷1号
	能木原3号
	玉若南命神社
後(六世紀)	美々津丘 平神社
	水若酢
終末(七世紀)	

隠岐の古墳

しんかいこぶんぐん

◆新聞古墳群◆ 土橋のある妙な古墳

海士町海士

特別養護老人ホーム建設のため発掘調査された4基の円墳群です。規模はいずれも20m以下で、径10mと最も小さな4号墳が現地に保存整備されています。

これらは、4世紀後半～5世紀頃に造られたと見られ、1号墳は隠岐で最も古いことが分かりました。

2号墳・4号墳は周囲を廻る溝に通路状の土橋が付いた珍しい古墳として知られています。



● 入館料 中学生以上300円 小学生以下150円
● 電話番号 08514-2-1470
● 開館期間 3月初～11月末(無休)
● 開館時間 午前9時～午後5時

◆海士町歴史民俗資料館◆

海士町に流刑となった後鳥羽上皇に関する資料を中心に、町内で出土した考古資料(縄文、弥生、古墳時代)、近世の流人資料、民俗資料などが展示されています。



● 入館料 中学生以上300円 小学生以下150円
● 電話番号 08514-2-1470
● 開館期間 3月初～11月末(無休)
● 開館時間 午前9時～午後5時

● 入館料 大人 300円、高・大学生 200円、小中学生 150円
● 開館期間 4月中旬～10月末
● 開館時間 午前9時～午後4時30分(休館:毎週月曜)
● 電話番号 08514-7-8877

みたじりこぶん

◆美田尻古墳・ふるさと館◆ 湾を見下ろす精美な古墳

西ノ島町美田

美田八幡宮の裏、別府港を見下ろす眺望の良い丘の上に築かれた円墳です。

径約15mのこんもりとした墳丘は2段築成され、葺石も見ることができます。築造当初は遠方からもよく目立つ精美な古墳だったと考えられます。

すぐ近くには、古くから伝わる漁具や民具・文化財などが展示されている西ノ島町ふるさと館があるので、併せて見学するのがおすすめです。祭祀遺跡で有名な兵庫遺跡や物井横穴墓の出土遺物も見ることができます。

ねこがいわやこぶん

◆猫ヶ岩屋古墳◆ 露出した石室天井石

知夫村宮谷

国指定名勝・天然記念物「隠岐知夫赤壁」への道中にある古墳です。墳丘が流れ、自然石を利用した横穴式石室の天井石が露出しています。



● 入館料 無料
● 電話番号 08514-8-2301
● 開館 午前9時～午後4時(平日のみ)
※見学には予約が必要
※7月下旬～8月中旬は特別開館

◆知夫村郷土資料館◆

たかつく 高津久横穴墓群出土遺物など、知夫里島の考古資料、農具、漁具などの民具を収蔵展示。



● 入館 無料
● 電話番号 08514-8-2301
● 開館 午前9時～午後4時(平日のみ)
※見学には予約が必要
※7月下旬～8月中旬は特別開館

● 入館料 大人 300円、高・大学生 200円、小中学生 150円
● 開館期間 4月中旬～10月末
● 開館時間 午前9時～午後4時30分(休館:毎週月曜)
● 電話番号 08514-7-8877

たまわかすみことじんじゃ こぶんぐん

◆玉若酢命神社古墳群◆ 精美な前方後円墳で有名

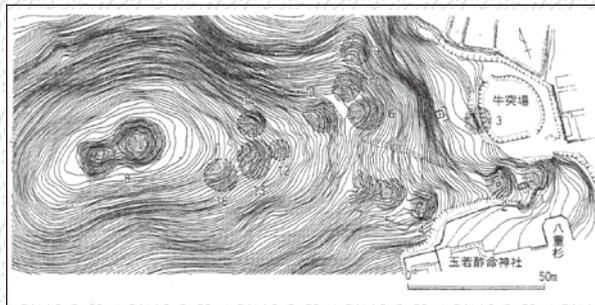
県指定

隠岐の島町下西

玉若酢命神社の北西丘陵上に位置し、前方後円墳と10基以上の円墳からなる古墳群です。頂上には最も大きな8号墳があり、長さ32mの精美な前方後円墳として知られています。後円部頂上には石室か石棺の用材と見られる石があります。5号墳と7号墳は別の古墳とされていましたが、最近では1基の前方後円墳と見る意見もあります。3号墳は消滅しましたが、横穴式石室をもった6世紀の古墳でした。



西郷港から隠岐一畑バス(玉若酢命神社、都万向山方面)約10分、玉若酢命神社前下車



こうのはら 2ごうぶん

◆甲ノ原2号墳◆ 隠岐最古の前方後円墳

町指定

隠岐の島町下西

4基からなる甲ノ原古墳群のうち、2号墳は全長31mの完全な形で残っている前方後円墳です。墳丘形態等から4世紀終わり～5世紀初め頃に造られた可能性もあるとされています。3号墳は二宮神社が建てられており、前方部は半分しか残っていません。全長36mの前方後円墳2基を含む斎京谷古墳群も隣接しており、この一帯は首長墓が集中する地区として注目されます。



玉若酢命神社から徒歩5分

へいじんじゃ こぶん

◆平神社古墳◆ 隠岐最大の前方後円墳

県指定

隠岐の島町平

6世紀後半の前方後円墳で、全長約48mと隠岐最大の規模を誇る古墳です。かつては葺石や埴輪の破片も落ちていたようで、築造当時は荘厳に見えたことでしょう。

後円部にある横穴式石室は半壊し、側壁と奥壁の一部しか残っていませんが、小さな石材を丁寧に積み上げている様子が分かります。石室の位置が墳丘の中心からずれており、未確認の主体部がもう1基存在するのでは、とも言われています。



玉若酢命神社から徒歩20分

みずわかすじんじゃ こぶんぐん

◆水若酢神社古墳群◆ 隠岐最大の横穴式石室

隠岐の島町郡

神社の境内にある2基の古墳群です。1号墳は墳丘が失われ、長さ約11mと隠岐最大の横穴式石室が露出しています。埋もれて見ることはできませんが、玄室内には刳り抜いて造った石棺が2つ収められています。2号墳は径20mの円墳です。

1号墳からは土器のほか、大刀や鋤などの鉄器・ガラス玉が出土しており、東京国立博物館に収蔵されています。



西郷港からバス(重栖・福浦方面)40分

きたかたよこあな ぼくん

◆北方横穴墓群◆ 鳥後を代表する横穴墓群

隠岐の島町北方

岩盤に掘り込まれた20基以上からなる、隠岐を代表する横穴墓群です。崩落しているものもありますが、入口から玄室までよく残るものもあり、中には床の岩盤に遺体を置くベッドを持つものもあります。



隠岐の島町五箇支所から徒歩5分

おすすめ見学コース

- 甲ノ原古墳群 徒歩 5分
- 斎京谷古墳群 徒歩 10分
- 玉若酢命神社古墳群 徒歩 20分
- 平神社古墳



しまね

P2

石見の古墳

- 3P ①大元古墳群・スクモ塚古墳・小丸山古墳
- 4P ②鶺ノ鼻古墳群 ③周布古墳 ④片山古墳
- 5P ⑤高野山古墳群 ⑥野伏原古墳群 ⑦楡ノ木谷横穴群・明神古墳

P6

出雲の古墳

- 7P ⑧大念寺古墳
- 8P ⑨上塩冶築山古墳・地藏山古墳
- 9P ⑩宝塚古墳・妙蓮寺山古墳・放れ山古墳・大槻古墳
- 10P ⑪山代二子塚古墳・大庭鷄塚古墳・山代方墳
- 11P ⑫岡田山1号墳・岩屋後古墳・大草岩船古墳・古天神古墳
安部谷横穴墓群・百塚山古墳群
- 12P ⑬徳連場古墳・玉造築山古墳・岩屋寺跡横穴群
- 13P ⑭造山古墳群・大成古墳・塩津山1号墳
- 14P ⑮仲仙寺墳墓群・塩津神社古墳 ⑯毘売塚古墳
- 15P ⑰飯梨岩舟古墳 ⑱若塚古墳 ⑲矢田古墳群
⑳日向峰古墳群・森木峰古墳群
- 16P ㉑神原神社古墳 ㉒松本1号墳 ㉓神庭岩船山古墳
- 17P ㉔比丘尼塚古墳 ㉕岩屋古墳・常楽寺古墳

P18

隠岐の古墳

- 19P ㉖新開古墳群 ㉗美田尻古墳 ㉘猫ヶ岩屋古墳
- 20P ㉙玉若酢命神社古墳群・甲ノ原2号墳・平神社古墳
- 21P ㉚水若酢神社古墳群・北方横穴墓群



山陰の古墳分布

MAP



とっとり

P24

伯耆の古墳

- ⑦宗像古墳群 ⑧陰田1号墳 ⑨石州府1号墳 25P
- ⑩岸本7号墳 ⑪吉定1号墳 ⑫貝田1号墳 26P
- ⑬普段寺古墳群 ⑭殿山古墳 ⑮後谷山古墳 27P
- ⑯向山古墳群・石馬谷古墳 28P
- ⑰岩屋古墳・上ノ山古墳・長者ヶ平古墳 29P
- ⑱晚田山31号墳 ⑲宮内古墳群 30P
- ⑳岩屋平古墳 ㉑高田26号墳 ㉒岩屋堂古墳 31P
- ㉓橋津古墳群 32P
- ㉔長瀬高浜遺跡 ㉕宮内孤塚古墳 33P
- ㉖北山古墳 ㉗三明寺古墳 34P
- ㉘福庭古墳 ㉙向山6号墳 ㉚国分寺古墳 35P
- ㉛上野遺跡 ㉜上神大将塚古墳 ㉝大宮古墳 36P
- ㉞八橋孤塚古墳 ㉟大法3号墳 ㊱出上岩屋古墳

P37

因幡の古墳

- ㊲梶山古墳 ㊳本高14号墳 38P
- ㊴古郡家1号墳 ㊵空山古墳群・坊ヶ塚古墳 39P
- ㊶布勢古墳 ㊷大熊段1号墳 ㊸山ヶ鼻古墳 40P
- ㊹高野坂古墳群 ㊺小畑古墳群・穴観音古墳 41P
- ㊻梶間1号墳 ㊼鷺山古墳 ㊽富沢古墳 42P
- ㊾西山1号墳 ㊿阿古山22号 ㊱獄古墳 ㊲寺山古墳 43P

伯耆の古墳

伯耆地域では

鳥取県の中・西部に相当する伯耆地域では、総数6500基以上の古墳が知られています。このうち東伯耆では、東郷湖を中心とする地域(湯梨浜町)に古墳が密集しています。橋津4号墳や宮内狐塚古墳・北山古墳といった県下最大級の前方後円墳の存在からは、この地域が政治的に中心となる場所であったことがわかります。

西伯耆では淀江平野周辺(米子市)や手間平野周辺(南部町)が古墳密集地域として知られています。両地域とも大型の前方後円墳や横穴式石室があるなど、古墳時代を通じて有力な首長がいたことが窺えます。また大山町の日本海沿岸部には、県内における切石造横穴式石室の3/4が集中しており、この地域の後期古墳の大きな特徴となっています。



倉吉市向山142号墳出土埴輪



大山町ハンボ塚古墳出土埴輪



米子市石州府古墳群



むなかた こぶんぐん

◆宗像古墳群◆ 北部九州との交流

米子市宗像

宗形神社背後の丘陵部にある古墳群で、3基の前方後円墳を含む11基からなります。このうち1号墳は全長37mで、直径28mの後円部に2基の横穴式石室を持っています。第1石室は長さ3.2m、奥壁の幅2.0mの割石積み両袖式で、円頭柄頭・直刀・銀環・金銅製帯金具・玉類・須恵器などの副葬品が出土。また北側の第2石室では、直刀・銅鈴・水晶製切子玉などがありました。この古墳群は出土遺物から6世紀代をととして形成されたと考えられています。



山陰道米子南ICから車で1分
(バス)「宗形」下車 徒歩5分

◆福市考古資料館◆

国史跡福市・青木遺跡に隣接する資料館で、同遺跡のほか、米子市内から出土した資料が展示されています。



入館料無料 開館時間:午前9時30分~午後5時
休館日:火曜日および国民の祝日の翌日・年末年始
お問い合わせ:0859-26-3784

いんだ 1ごうふん

◆陰田1号墳◆ 県内最大規模の大横穴墓群

市指定

米子市陰田町

陰田古墳群は島根県との県境に近い丘陵上にある古墳群で、前方後円墳を含む59基の古墳群があります。古墳は中期~後期の円墳が主で、このうち1号墳は横穴式石室を見学できます。また6世紀後半~8世紀にかけて50基ほどの横穴墓がつくられたことも知られています。



山陰道米子西ICから車で5分

せきしょ 1ごうふん

◆石州府1号墳◆ 巨石を用いた横穴式石室

市指定

米子市石州府

1号墳は大山西麓の丘陵地に展開する石州府古墳群のなかにあります。直径42m、高さ6mという規模で、岸本7号墳に次ぐ大きさです。南に面した横穴式石室は巨石を用いてつくられ、玄室の奥行4.6m、奥壁の幅2.8m、高さ3.1mと大きなものです。



山陰道米子東ICから車で10分

きしもと7ごうぶん
◆岸本7号墳◆ 県内最大級の円墳 **町指定**
 伯耆町岸本

日野川右岸にある岸本古墳群の中心をなす古墳です。直径4.5m、高さ5mの大型円(方)墳で、県内では最大級のものです。

内部には両袖式の横穴式石室があり、玄室の奥行き2.7m、奥壁の幅2.3m、高さ2.15mを測ります。奥壁・側壁・天井は各1枚の板石で構築され、隙間には小さな割石が詰められています。

副葬品は見つかっていませんが、墳丘上で須恵器が出土しています。



JR岸本駅から徒歩15分



JR岸本駅から徒歩30分

よしさだ1ごうぶん
◆吉定1号墳◆ 横穴式石室導入期を探る **町指定**
 伯耆町吉定

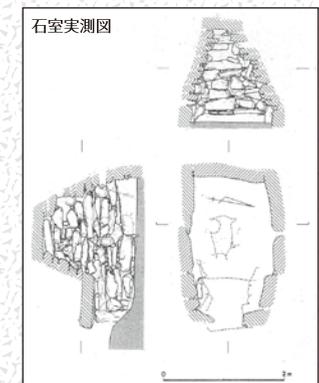
日野川右岸、細見神社境内にある直径約10mの円墳で、横穴式石室が南側に開口しています。石室は両袖式で腰石上に扁平な石を小口積みされています。また壁全体が赤く塗られています。玄室は奥行き5.8m、奥壁の幅2.3m、高さ1.9m。羨道は一部埋没しています。

こうした特徴は初期の横穴式石室に見られるもので、本県における横穴式石室の受け入れを考えると貴重です。また、石室内から、鉄刀や須恵器が出土しています。

かいだ1ごうぶん
◆貝田1号墳◆ 日野郡を代表する横穴式石室 **町指定**
 江府町貝田

貝田集落の東北約600mの林にある直径8.5mの円墳で、両袖式の玄室が残っています。玄室の奥行きは2.2m、高さ1.5mで小型の石材を積み上げ、壁が内側に傾斜しています。すでに副葬品は持ち出され、残っていませんでした。

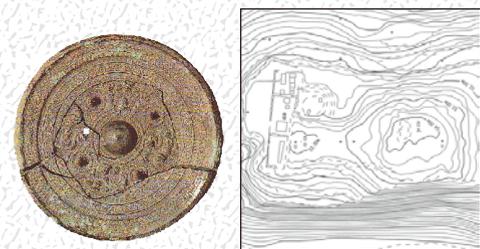
ココに注目! 日野川上流域、中国山地に位置する日野郡は、鳥取県の面積の1/5弱を占めますが古墳は少なく、大半が後期古墳です。この地域の横穴墓には、玄門の左右に柱状の石をたてるなどして天井石を載せるものがあり、ひとつの特徴となっています。



米子道江府ICから車で15分

ふだんじこふんぐん
◆普段寺古墳群◆ 県内最古の前方後方墳 **町指定**
 南部町寺内

大安寺西南の丘陵上に、7基の古墳が並んでいます。この北端には全長23mの前方後方墳(1号墳)があり、後方部から鏡・管玉・剣が出土しています。このうち鏡は三角縁唐草文帯二神二獣鏡と呼ばれるもので、安来市大成古墳などと同型です。



山陰道米子西ICから車で15分

うしろさこやまこふん
◆後塔山古墳◆ 当時の姿がよみがえる人物埴輪 **町指定**
 南部町諸木

諸木集落の後方台地上にある前方後円墳で、全長55m、後円部の直径は32mあります。ここは盗掘を受けているものの、墳丘の保存状態は良好です。また埋葬施設は不明ですが、円筒埴輪や人物埴輪が出土しています。人物埴輪には三角帽子をかぶり、耳の辺りから巻いた髪が長くたれたものと、丸つばの帽子をかぶったものがあります。中期後半ごろの古墳と考えられています。



とのやまこふん
◆殿山古墳◆ 伯耆の英雄、ここに眠る **町指定**
 南部町三崎

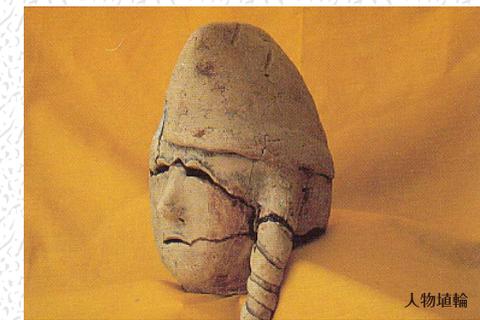
殿山丘陵上にある前方後円墳で、全長108m、後円部の直径は58mあります。埋葬施設は不明ですが、墳形から中期ごろと考えられます。その規模からこの地域で権力を持った首長が葬られているのでしょうか。山陰最大級の規模を誇る古墳です。



山陰道米子西ICから車で15分



山陰道米子西ICから車で15分



人物埴輪

むこうやま こふんぐん

◆向山古墳群◆ 淀江の首長墓が集う

国指定

米子市淀江町福岡

高麗山北麓に広がる淀江平野の東方丘陵には、総数90基ほどの古墳群があります。そのうち向山古墳群は全長400mの独立丘陵を中心につくられた14基の古墳群です。狭い丘陵上に向山3・4号墳や岩屋古墳・長者ヶ平古墳などの前方後円墳8基、方墳1基があります。また南側丘陵部には石馬谷古墳があるなど、西伯耆の代表的な前方後円墳が密集しており、5～7世紀におけるこの地域の首長系譜をたどることができます。また向山古墳群の近くには弥生時代の妻木晩田遺跡、奈良時代の上淀廃寺跡が存在するなど、鳥取県の歴史を考える上で、非常に重要な地域です。



JR淀江駅下車徒歩20分
山陰道淀江ICから車で5分

いしうまだに こふん

◆石馬谷古墳◆ なぜここに？本州唯一の石馬出土

国指定

米子市淀江町福岡



本州で唯一の石馬が出土したとされる古墳です。石馬は昭和34年に国の重要文化財に指定されました。体長1.5m、高さ0.9mで頭部と胴部はほぼ完存し、後脚も残るなど非常に保存状態のよいものです。九州との関連がうかがわれますが、石材は大山山麓に産する安山岩が使われています。



天神垣神社境内の収蔵庫で見ることができます。(要申込)

湯梨浜町長瀬高浜遺跡からは古墳時代の馬墓があり、骨も残っていました。それと比較してもほぼ同じ大きさであることから、この石馬は当時の馬の実物大であったと考えられます。



井手狭遺跡出土

◆上淀白鳳の丘展示館◆

上淀廃寺の壁画、稲吉角田遺跡から出土した弥生時代の絵画土器など、淀江から出土した一級の資料が展示されています。

入館料：有料
(大人310円、
大学・高校生160円
中学生以下無料)
お問い合わせ：
0859-56-2271

JR淀江駅から徒歩20分
山陰道淀江ICから車で5分

いわや こふん

◆岩屋古墳◆ 切石造りの石室は必見！

国指定

米子市淀江町福岡

向山丘陵の北東端にある、全長48mの前方後円墳です。後円部に築かれた全長9mの大型切石造横穴式石室は、この地域を代表する石室です。また後円部東裾部からは人物・水鳥・馬形埴輪などが出土しています。6世紀後半頃の築造と考えられています。



かみのやま こふん

◆上ノ山古墳◆ 豊富な副葬品が出土

ちょうじゃがなるこふん

◆長者ヶ平古墳◆ 金冠を戴く王者の墓

米子市淀江町福岡

米子市淀江町福岡

天神垣神社裏山にある前方後円墳です。全長は35mで墳丘に葺石があるほか、家形・盾形・円筒埴輪などが出土しました。後円部には竪穴式石室が2基あり、各石室からは三角板革綴短甲や衝角付冑、鉄剣、内行花文鏡、500点以上の勾玉や管玉が見つかりました。中期後半頃築造された古墳と考えられます。



向山丘陵の南西端にある、全長64mほどの前方後円墳です。後円部には両袖式の横穴式石室があり、箱式石棺も確認されています。石棺からは人骨のほか、金銅製冠、環頭太刀などが出土しました。冠は大陸色の強いものとして注目されます。



みやうち こふんぐん

◆宮内古墳群◆ 県内屈指の古墳密集地

ばんだやま31こふん

◆晩田山31号墳◆ 上淀廃寺との関連に注目！

大山町宮内田中山

米子市淀江町福岡

高麗山東麓に展開する、前方後円墳3基を含む108基の古墳群です。県内屈指の密集度を誇ります。このうち1号墳は直径25m、高さ3.5mの円墳で、北西に開口する両袖式の横穴式石室があります。玄門は中央部を方形に削り貫いています。また1号墳の北にある2号墳は全長31mの前方後円墳で、長さ3.3m、幅2.0m、高さ2.0mの切石造の石室があります。

晩田山古墳群にある、一辺が18mの方墳です。盗掘により大きく破壊された切石造の横穴式石室が残っています。出土遺物から古墳時代終末頃の築造とみられ、南方500mにある上淀廃寺との関連が推測されています。



山陰道淀江ICから車で15分

おすすめ見学コース

- 向山古墳群 (伯耆古代の丘公園) 徒歩5分
- 上淀白鳳の丘展示館 徒歩5分
- 上淀廃寺跡 徒歩5分

いわやなるこふん

岩屋平ル古墳 ◆ 保存よし、町内を代表する石室です。 **県指定**

大山町八重笠場谷

八重集落の南側に広がる丘陵上に位置する、直径21m、高さ3.5mの円墳です。切石造りの横穴式石室で、玄室の奥行は3.2m、奥壁の幅2.2m、高さ1.8mのものです。石室の残りはよく、この地域の代表的な古墳です。



JR山口から車で10分

たかだ26こふん

高田26号墳 ◆ 巨石を使った石室 **県指定**

大山町上高田

墳丘をほとんど失っており、切石造りの横穴式石室が露出しています。玄室は奥行2.5m、奥壁の幅1.6m、高さ1.7mで、玄門は板状の切石を立てた両袖式です。

個人宅内にありますので、見学を御希望の際は予め、大山町教育委員会(0859-54-5212)にお問い合わせください。



山陰道淀江ICで車から15分

いわやどう こふん

岩屋堂古墳 ◆ 集落内に残る古墳 **町指定**

大山町岡

岡集落のなかにある全長29mの前方後円墳です。墳丘を削られ、横穴式石室の一部が露出しています。玄門は自然石を立てた両袖式で、外側から扉石上の板石で閉ざされ、羨道は埋没しています。玄室は奥行3.3m、奥壁の幅2.2m、高さ2.2mで、壁面は赤く塗られています。

大山北麓から東麓にかけては県内で数々の切石造横穴式石室が密集する地域といえるでしょう。これらの石室は角閃石安山岩が利用されていますが、これは大山北麓に産するもので、豊富な石材が獲得できたことがひとつの背景になっていると考えられます。



JR下市駅から徒歩20分

はしづ こふんぐん

橋津古墳群 ◆ 日本海を望む王陵 **国指定**

湯梨浜町上橋津ほか



橋津4号墳出土品(湯梨浜町羽合歴史民俗資料館)



山陰道はわいICから車で10分

ここに注目!
東伯耆を代表する古墳時代前期の古墳群。隣接する平野部には、同じく古墳時代前期の大集落として知られる長瀬高浜遺跡があります。

海浜に面した小高い丘の上にある古墳群です。5基の前方後円墳と19基の円墳があります。別名を馬の山古墳群といいます。

このうち、橋津4号墳は4世紀に造営された東伯耆を代表する大型前方後円墳(推定全長110m)です。昭和31年に、後円部中央部にある竪穴式石室や箱式石棺、後円部東斜面の円筒埴輪棺、前方部平坦部の箱式石棺、埴製円筒棺の発掘調査が行われました。竪穴式石室は板石を15段ほど積み上げて造られており、室内は深紅に彩られていました。室内には割竹形の木棺があり、中国製の三角縁神獣鏡や日本製の画文帯環状乳神獣鏡やヒスイ製の勾玉、車輪石等の石製腕飾、棺外には刀剣類が副葬されていました。また、この他の埋葬施設からも、数多くの貴重な副葬品が出土しています。橋津4号墳の出土品は湯梨浜町羽合歴史民俗資料館に展示されています。

おすすめ見学コース

- 湯梨浜町羽合歴史民俗資料館 (車で10分)
- 橋津古墳群 (車で10分)
- 宮内狐塚古墳 (車で10分)
- 北山古墳 (車で10分)

ながせたかはま いせき

◆長瀬高浜遺跡◆ 砂の下に眠る古墳時代の大集落と古墳群

湯梨浜町はわい長瀬

天神川左岸の砂丘下に眠る県内有数の遺跡です。古墳時代の集落跡と古墳群が発見されました。長瀬高浜遺跡では、古墳時代前期に盛期を迎える集落が中期になって衰退を始めると共に、古墳の築造がはじまります。

遺跡中最大の古墳は、現在、浄化センターのそばに移築復元されている長瀬高浜1号墳です。直径24mの円墳で、墳丘は川原石を用いた葺石で覆われていました。墳丘中央部にある箱式石棺内からは、額に豎櫛がおかれた女性人骨と、副葬された直刀が見つっています。直刀は木製の鞘に納められ、布と組紐にくるまれていたようです。

また、遺跡の北東隅でみつかった土坑からは、甲冑、盾、家形の形象埴輪や円筒埴輪、朝顔形埴輪など約7,000点(国指定重要文化財)が出土しています。これから古墳に並べられようとする埴輪が一箇所にまとめられていたのかもしれません。



山陰道はわいICから車で5分



長瀬高浜1号墳

◆宮内狐塚古墳◆ 東郷池を望む大型前方後円墳

湯梨浜町宮内

東郷池東岸にある大型前方後円墳(全長95m)。東郷池に前方部を突き出すように築造されています。戦国時代には、背後の御冠山に陣をはった羽柴の軍勢が、古墳上に櫓を建てたという伝説があります。



泊東郷ICから車で20分



◆湯梨浜町羽合歴史民俗資料館◆

橋津古墳群や長瀬高浜遺跡から出土した弥生時代前期、古墳時代などの貴重な出土品が展示してある。国の重要文化財に指定されている埴輪は必見。



入場料:大人100円
開館時間:午前9時~午後4時30分
休館日:12/31~1/5
お問い合わせ:0858-35-3111

山陰道はわいICから車で5分

きたやま こぶん

◆北山古墳◆ 山陰最大の前方後円墳

国指定

湯梨浜町野花ほか

東郷池南岸の丘陵に展開する北山古墳群の盟主墳として知られる古墳時代中期の大型前方後円墳(全長110m)です。正式には北山1号墳ですが、北山古墳といえば、この前方後円墳を指します。

東郷池の南を通る県道からも、その大きな墳丘の前方部と後円部の高まりをみることができます。

昭和41年に行われた発掘調査では、後円部に築かれた箱式石棺や排水用の暗渠や礫床などが見つかりました。かなり古くに盗掘されており、中心にあった石室は破壊され、副葬品は持ち去られていましたが、箱式石棺の中からは、埋葬された人骨や、「尚方作」の銘文のある中国製の盤竜鏡(竜虎鏡)、6本の鉄刀、勾玉、管玉などの副葬品が出土しました。

また、昭和51年には、近隣の畑耕作中に北山古墳の東側にある円墳から神獸鏡が掘り出されています。



ココに注目!

北山古墳は山陰随一の墳丘規模を誇る大前方後円墳です。

泊東郷ICから車で10分

さんみょうじ こぶん

◆三明寺古墳◆ 山陰屈指の石室

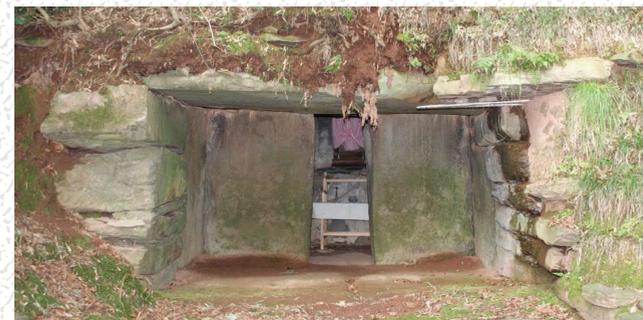
国指定

倉吉市巖城寺山

小鴨川左岸から市街地を見下ろす向山丘陵には600基近い古墳からなる向山古墳群があります。この古墳群にある三明寺古墳は、山陰屈指の石室を誇る古墳時代後期の古墳です。地元では岩屋と呼ばれ親しまれています。山名寺横の参道を登ると、南向に開口した山陰地方最大級の横穴式石室があらわれます。古墳時代後期の円墳(直径18m)で、全長8.3mの石室は切石作りの両袖式で、奥壁に巨大な1枚岩、玄門に2枚の平石が立てられており、玄室の奥壁にそって板石を組み合わせた石の囲いがあります。この石囲いは、九州によくみられる「石屋形」との類似性が指摘されています。小鴨川を挟んで対岸にある国史跡大御堂廃寺を建立した氏族との関連がうかがわれます。



倉吉駅から車で10分



ふくばこふん

◆福庭古墳◆ 式内社境内に残る横穴式石室

県指定

倉吉市福庭

倉吉駅北側の丘陵にある波波伎神社の境内にある円墳(直径35m)です。

精美な切石積みの横穴式石室の全長は3.9m、奥壁、両壁に大きな切石を立て、その上に一枚岩をかけて天井石としています。玄門は左右に2枚の板石を立てる両袖式です。玄門上の小天井石にはホゾ穴が加工しており、そこに玄門の石がはめ込まれています。玄門近くの玄室床面には、仕切石で遺体を安置する区画がしてあり、玄室の手前に前室を設け副室構造をとるなどの特徴があります。また、玄室の奥壁上部の石材には、赤い顔料で3本の平行線が引かれ、その間に鋸歯文が描かれています。

出土遺物はなく、石室の構築方法から古墳時代終末期の築造と推定されています。



ココに注目!

波波伎神社の社叢は国の天然記念物に指定されています。高木の8割はスタジイで占められており、胸高直径1.5m、高さ20mにおよぶ巨木が密集しています。

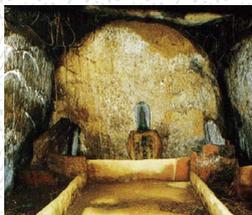
倉吉駅からバス橋津線で10分、福庭北高前で下車、徒歩10分

むこうやま 6ごうふん

◆向山6号墳◆ 仕切石によって区画された石室

倉吉市巖城

竹田川・小鴨川を見下ろす向山古墳群にある、東伯耆最後の前方後円墳(全長40m)。後円部に切石を交えない両袖式の横穴式石室があります。玄室の床面に特徴があり、仕切石で箱式石棺上の区画が設けられています。舶来の緑色ガラスが出土しています。



倉吉駅から田内神社まで車で10分、徒歩15分

こくぶんじこふん

◆国分寺古墳◆ 3面の中国鏡が出土した前期古墳

市指定

倉吉市国府

国府川左岸にある前方後円墳(推定全長60mの前方後方墳ともいわれる)。現在の国分寺本堂裏手にあります。大正11年に粘土槌がみつき、鏡3枚、鉄剣3~4振、鉄斧、鉄鍬などが出土しました。鏡はいずれも中国製で、き鳳鏡、三角縁神獸鏡、斜縁二神二獸鏡です。出土した副葬品はいずれも国の重要文化財に指定されています。



倉吉駅からバス社線(倉吉農高行)で15分、国府下車、徒歩5分

うえのいせき

◆上野遺跡◆ 土坑内に樹立していた子持壺形須恵器群

倉吉市三江

山上にある土坑から、5列に整然と並べられた子持壺形須恵器、脚付子持壺形須恵器が出土しました。信仰に関連した祭器でしょうか。これらの須恵器は現在、倉吉博物館で展示公開されています。国の重要文化財。現地も見学可。



倉吉駅からバス大河内線30分、三江で下車、徒歩5分

かずわたいしょうづか こふん

◆上神大將塚古墳◆ 豪華な副葬品を埋納した大型円墳

市指定

倉吉市上神

上神大將塚古墳は、四王寺山の東麓にある円墳(直径27m)です。大正5年、箱式石棺の中から、三角縁神獸鏡(仿製鏡)、碧玉製鍬形石、琴柱形石製品、管玉など多量の副葬品が見つかりました。琴柱形石製品の出土は山陰唯一の事例です。出土品は、現在、東京国立博物館が所蔵しています。



倉吉駅からバス赤碓線で20分、寺谷入口下車、徒歩5分

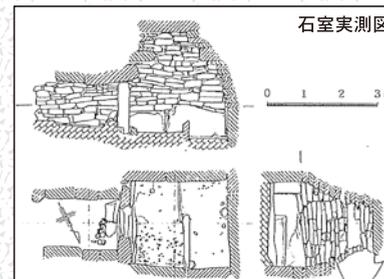
おおみや こふん

◆大宮古墳◆ 華麗なドーム型天井の石室

市指定

倉吉市大宮

広瀬川と小鴨川が合流する左岸の河岸段丘の上にある古墳です。墳丘は一部が削り取られています。調査の結果、直径25m程度の円墳であることがわかりました。石室は、両袖式の横穴式石室(全長5.2m)です。石室の基底部に厚めの板石を立て、その上に小振りな板石を小口積みしながらドーム状に積み上げ、その上に天井石をのせています。また、玄室の入口に柱状の石を左右に立て玄門としています。玄室内には玄門下と奥壁から1mほどのところに仕切石が設けられており、銀環、鉄鍬、馬具、指輪状金製品などが副葬されていました。6世紀前半の築造と考えられ、鳥取県中部では最古の横穴式石室と考えられています。



石室構造に九州との類似点
が認められる重要な古墳
です。

ココに注目!

倉吉駅からバス広瀬線で20分、大宮下車、徒歩5分

因幡の古墳

因幡地域では

鳥取県東部にあたる因幡地域では、千代川下流域の鳥取平野を中心とする平野部を望む丘陵上に、約2,000基以上の古墳が造られます。出現期の古墳の様相は、明らかになっていませんが、中国製の鏡を副葬した湖山池周辺の桂見2号墳(方墳:28m)が因幡最古の古墳とされています。また、最初の方後円墳は鳥取市の本高14号墳(63m)で、同じ日本海沿岸の北陸地方と同時期に前方後円墳が造られると見られます。

前期末になると因幡地域最大級、全長90mを測る前方後円墳・古郡家1号墳が千代川右岸に出現し、因幡全域を支配する首長が現れたと考えられます。その後、全長67mの前方後方墳・古海36号墳、前方後円墳では里仁29号墳(81m)、柗間1号墳(92m)など、千代川左岸・湖山池周辺に大規模な前方後円墳が次々と造営され、千代川右岸の古墳を規模の上では圧倒していきます。中期から後期になると、千代川中流域の八東川・私都川が合流する国中平野、因幡西部(旧気高郡)の河内川、勝部・日置川流域、因幡東部の海岸砂丘から但馬方面に抜ける蒲生川流域にも中・小規模な前方後円(方)墳を中心とする古墳群が造営されるようになります。一方、千代川上流域の山間部では前方後円墳はみられず、小規模な古墳しか造られません。

因幡東部では後期古墳の埋葬施設である横穴式石室に、巨石を用いて玄室天井の中央を高く構築する中高式天井が広く採用されます。その中には魚・船・鳥・人物等を描いた線刻壁画が描かれることがあり、この地域の特徴ともなっています。また7世紀に入ると、多角形墳の梶山古墳や、仏教思想の普及をうかがわせる鷗尾付陶棺が納められた蔵見3号墳などの終末期古墳も造営されますが、やがて律令体制下の因幡国として、古代地方行政に組み込まれていく中で、古墳は造られなくなっていきました。



桂見2号墳に副葬された中国鏡

鳥取市福部町の蔵見3号墳から出土した蓋に鷗尾を飾る陶棺(県指定保護文化)

時期	因幡
前(四世紀)	桂見2号墳 本高14号墳
中(五世紀)	六部山3号墳 古郡家1号墳
後(六世紀)	柗間1号墳 每勢古墳
終末期(七世紀)	梶山古墳

くらよしはくぶつかん 倉吉博物館



野口1号墳出土須恵器(重要文化財)

桜やツツジの名所として親しまれている打吹公園のそばにあり、倉吉市内から出土した貴重な出土品が体系的に展示されています。



倉吉駅からバス市内線西倉吉行き10分、赤瓦・白壁土蔵下車、徒歩8分。

だいほう3こうふん

大法3号墳 移築された竪穴系横穴式石室

琴浦町大法

加勢蛇川の右岸の丘陵にある円墳(直径13m)。昭和53年に発掘調査が行われ、現在は、横穴式石室が移築復元されています。石室は、九州の影響を受けた竪穴系横穴式石室と呼ばれるもので、縦長の羨道と玄室が仕切石で分けられ、玄室の床は一段低く造られています。



JR浦安駅から車で10分



いでがみいわこふん

出上岩屋古墳 出雲や西伯耆との関係を示す石室

琴浦町出上

墳丘は失われており、切石を用いた横穴式石室が露出しています。石室は複室構造で、羨道はありません。側壁には加工痕がよく残っています。玄門は1枚岩をくり抜いたもので、県西部に類例の多いタイプです。出土した須恵器から6世紀頃の築造と考えられます。※個人宅内にありますので、見学を御希望の際は事前に琴浦町教育委員会(0858-52-1161)にお問い合わせください。



JR赤碕駅から徒歩20分



県指定

かじやまこふん

◆**梶山古墳**◆ 伊福吉部氏の奥津城・彩色壁画古墳

国指定

鳥取市国府町岡益梶山上ほか



昭和53年の彩色壁画の発見で広く知られた終末期古墳です。南北13m、東西16mの多角形(変形八角形)の墳丘前面には、石積の方形壇を備えており、凝灰岩で造られた切石造りの石室は、因幡地域の特有の中高式天井となっています。壁画は玄室奥壁にあり、最上段に竜文と同心円文が、中段に魚、下段に円文が赤黄色の顔料で描かれています。7世紀前半から中頃に築造されたと考えられるこの古墳は、後に国府が置かれた古代法美郡の有力氏族である伊福吉部氏の首長墓と推定されており、被葬者として「伊福吉部氏系図」にみる第25代久遲良臣か、第26代都牟自臣が候補に挙がっています。

ここに注目! JR鳥取駅から岡益橋バス停・徒歩15分
駐車場あり(無料)



ここおげ1ごうふん

◆**古郡家1号墳**◆ 豊富な副葬品に囲まれた因幡の首長墓

鳥取市古郡家

鳥取平野南部にある、因幡地域最大級の規模を誇る全長90mの前方後円墳。後円部から粘土槨、その両側に2基の箱式石棺が発掘されています。粘土槨からは奈良県新沢千塚500号墳以外に出土例のないハツ手葉形青銅品や勾玉・管玉、石棺からは人骨とともに鏡・漆塗櫛、鉄製武器・工具類と鉄製革綴短甲(鎧)といった多彩な副葬品が出土しています。また墳丘からは家・盾型埴輪と円筒埴輪が見つっています。前期末に築造された古墳と考えられ、眼下の鳥取平野を支配し、大和政権ともつながりを持った因幡の王の墓と考えられています。(出土品は県立博物館展示)



短甲



八手葉形青銅品



新鳥取県史編さん事業による再測量

そらやまこふんぐん ぼうがづかこふん

◆**空山古墳群・坊ヶ塚古墳**◆ 暗闇に描かれた線刻壁画群

県指定

鳥取市末久空山ほか・鳥取市広岡西矢谷

鳥取平野南部丘陵の空山、広岡古墳群には、横穴式石室内に線刻壁画を描いた小規模な後期古墳(円墳)が知られています。壁画には弓を引く武人や船・鳥などの具象的な構図と、綾杉文・木葉文などの抽象的な文様が描かれているものがあります。



弓を引く武人(坊ヶ塚古墳)



坊ヶ塚古墳



空山15号墳

JR鳥取駅からバス20分、広岡口下車、徒歩20分

もとだか14ごうこふん

◆**本高14号墳**◆ 山陰最古の前方後円墳

鳥取市本高



平成21年度、山陰道整備に伴う発掘調査によって発見された古墳です。発掘調査の結果、全長63m、鳥取県でも6番目の規模を誇る大型前方後円墳であること、埋葬施設からみつかった土器などの特徴から、築造時期は4世紀後半(古墳時代前期後半)であり、山陰地方で最も古い前方後円墳であることが分かりました。

当初はこの場所に道路が造られる計画でしたが、山陰地方での前方後円墳が導入される様子を示す古墳として重要であることから、現地保存が決定されました。

現在、古墳墳丘上には登ることはできませんが、国道29号周辺からかつての威容を仰ぎ見ることができます。

JR鳥取駅から山ヶ鼻バス停・徒歩11分

ふせこぶん
◆**布勢古墳**◆ 湖面を眺める前方後円墳
鳥取市布勢

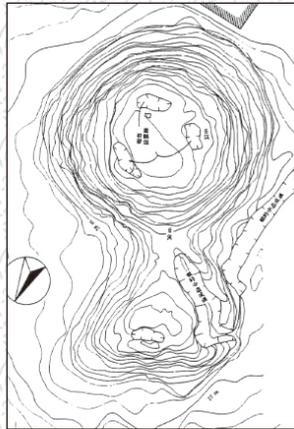
湖山池東岸の日吉神社裏山にあり、因幡地域で5番目の全長59mを測る前方後円墳。埴輪・須恵器が出土しており、中期末から後期初めに築造されたと考えられます。



JR鳥取大学前より徒歩15分

おおくまだん 1ごうぶん
◆**大熊段1号墳**◆ 大学構内に残る前方後円墳
鳥取市湖山町南

鳥取大学の敷地となっている濃山台地にあった古墳群の盟主墳。前長50mの前方後円墳で、前方部の幅が広がるのが特徴。円筒埴輪が出土しており、後期古墳と考えられます。



JR鳥取大学前より徒歩5分

やまがはな こぶん
◆**山ヶ鼻古墳**◆ 畿内とも共通する精美な横穴式石室
鳥取市古海釜ヶ谷

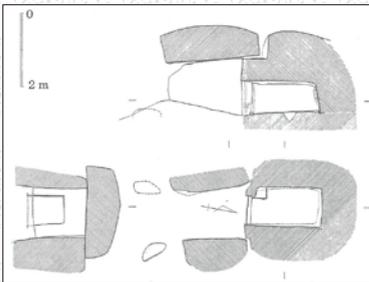
千代川左岸の丘陵上にある古海古墳群中の終末期古墳。墳丘が失われており、加工した凝灰岩の巨石を組み合わせた石室が完全に露出しています。玄室は一石を刳り抜いて造った天井と壁を床石の上に置いたもので、畿内の横穴式石室を思わせる特殊な構造をとっているのが特徴。精緻な切石加工と特殊な構造などから終末期(7世紀)の古墳と考えられます。

※見学を御希望の際は事前に鳥取市教育委員会文化財課(0857-20-3367)へお問い合わせください。



JR鳥取駅より車で10分、徒歩15分

凝灰岩の巨石を刳り貫いた加工は見事で、当時の最高水準の石室構築技術が窺える。



たかのざか こぶんぐん
◆**高野坂古墳群**◆ 駿馬にまたがる古代豪族の墓
岩美町岩常

因幡北東部、岩美町小田川中流域の丘陵中腹から山裾に展開する後期古墳群。見事な加工を施した家型石棺を安置した横穴式石室(2号墳)が古くから知られていました。

発掘調査が行われた10号墳は一边12mの方墳で、横穴式石室内に家型石棺が完全に残っているのが発見されました。現在、石棺は隣接地に復元された墳丘・石室内に再築されています。石室内からは、吊り下げ部に忍冬文を飾った青銅製壺鏡(馬具)など、多彩な副葬品が出土しています。



岩美町の家形石棺は出雲の家形石棺と異なり横口がなく、畿内のものに近いのが特徴です。



JR岩美駅から車で10分

おばたけこぶんぐん あなかんのんこぶん
◆**小畑古墳群・穴観音古墳**◆ 移築された巨石古墳と家形石棺
岩美町大谷

鳥取市から岩美町に抜ける馳山峠の山裾にある後期古墳群で、大型の横穴式石室を内蔵しています。このうち、穴観音古墳は全長11.3mを測る因幡地域最大級の横穴式石室で、巨石を用いて玄室中央の天井を高く積む中高式天井石室として知られています。

発掘調査された5号墳は鳥取市の布勢運動公園、3号墳石室と家型石棺は穴観音古墳の近くにある古墳公園に移築され、常時公開されています。



JR大岩駅から徒歩15分

かくま1ごうふん
◆**桝間1号墳**◆ 因幡地域最大の前方後円墳
鳥取市大桝

千代川左岸、因幡地域最大規模の前方後円墳(全長92m)。埴輪と葺石を持ち、中期古墳と考えられます。



隣接する里仁古墳群出土の埴輪棺

JR鳥取駅から車で10分

さぎやま ころふん
◆**鷺山古墳**◆ サケ?を描いた線刻壁画
鳥取市国府町町屋鷺山

袋川流域、稲葉山中腹にある線刻壁画古墳。奥壁に梶山古墳と共通する魚、側壁には船・鳥が描かれています。



JR鳥取駅から車で10分 徒歩15分

とみざわころふん
◆**富沢古墳**◆ 山あいに築かれた横穴式石室
智頭町新見

千代川上流部の支流・新見川沿いにある径13mの円墳。開口している全長6.6mの横穴式石室は、保存状態が良好で、中高式天井とは異なる片袖式平天井の石室です。7世紀前半の築造と考えられます。



JR智頭駅から車で10分



◆**鳥取県立博物館**◆



県内の古墳から出土した遺物などを展示する総合博物館。

JR鳥取駅からバス5分 徒歩5分

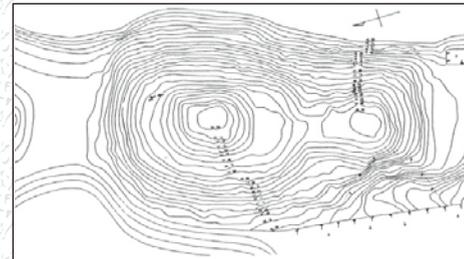
入館料：大人180円 開館時間：午前9時～午後5時
休館：月曜日及び国民の祝日の翌日 お問い合わせ：0857-26-8042

おすすめ見学コース

- 鷺山古墳 徒歩10分 車5分
- 陵墓参考地・岡益の石堂 徒歩10分 車5分
- 梶山古墳・彩色壁画 徒歩10分 車5分
- 新井の石舟古墳 徒歩10分

にしやま 1ごうふん
◆**西山1号墳**◆ 河内川流域最大の前方後方墳
鳥取市気高町下坂本

古代気多郡(旧気高郡)最大の古墳で、墳丘の保存状態が良好な全長47mの前方後方墳。埴輪や埋葬施設は明らかではありませんが、中期に築造され、河内川流域を支配した首長墓と考えられます。



JR浜村駅下車徒歩20分

だけ ころふん
◆**嶽古墳**◆ 神話に彩られた国中平野最大の前方後円墳
鳥取市河原町曳田

「古事記」に登場する八上比売を祭る売沼神社対岸の丘陵上にあり、千代川中・上流域で最大の全長50mを測る前方後円墳。埴輪や埋葬施設などは知られていませんが、中期から後期前半に築造され、眼下の国中平野を支配した首長の墓と考えられます。



JR河原駅下車から車で10分



あこやま 22ごうふん
◆**阿古山22号墳**◆ 巨大な一枚石を組み上げた石室
鳥取市青谷町青谷横木

日置川右岸の山裾に露出する大型の東伯耆型横穴式石室。側壁と天井石に船や星状の線刻壁画が描かれています。



JR青谷駅下車徒歩15分

てらやまころふん
◆**寺山古墳**◆ 横穴式石室に葬られた首長の一族
八頭町寺山

全長37.5mの前方後円墳。片袖式の横穴式石室が開口しており、かつて直刀・金銅製鏝などが出土したと伝えられています。



JR郡家駅より徒歩15分、郡家警察署裏山

古墳用語解説



覆石 墳丘斜面を覆った石で、古墳を飾るとともに盛土の流出を防ぎます。



墳丘 周囲を削ったり、盛り土をして造った高まりです。

埴輪 墳丘の上や周囲に飾りや祭祀のために配置されました。筒状の円筒埴輪、様々なものをかたどった形象埴輪などがあります。

周溝 墳丘の周囲にめぐらし、古墳と周囲を区画する溝です。

外堤 周溝の外側にめぐる土手で、ランクの高い古墳にみられます。



竪穴式石室(石棚) 前期の代表的な埋葬施設で、内部に木棺を安置しました。出入口は無く、1度の埋葬しか行われませんでした。



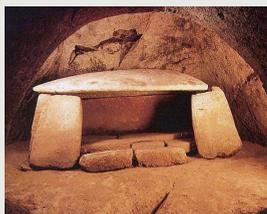
横穴式石室 後期に普及した。墳丘の側面から入る構造の石室。埋葬後は入り口を石で閉めますが、閉塞石は必ずごとく埋葬することができません。



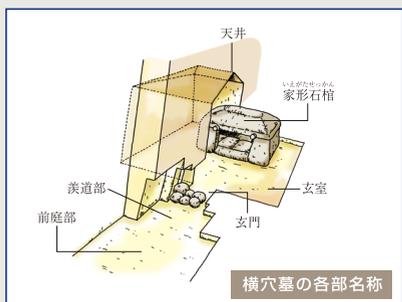
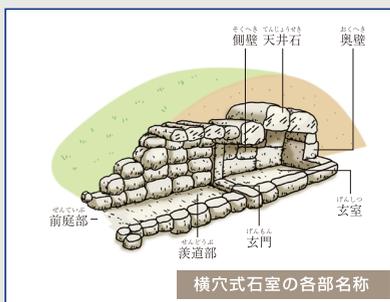
箱式石棺(はこしきせっかん) 弥生時代から見られる石棺で、箱形に板石を組み合わせたひつぎです。



舟形石棺(ふながたせっかん) 古墳時代中期に流行したひつぎで、石を割り抜いて造られました。縄を掛ける突起があります。



家形石棺(いえがたせっかん) 古墳時代後期に多く見られ、割り抜き式と組み合わせた式があります。



横穴墓 横穴式石室を横して、山の斜面に掘られた墓。一般的に石室を持つ古墳よりランクの低い墓です。

年表

西暦	時代区分	おもな出来事
100年	弥生時代 後期	倭国乱れる(魏志倭人伝)
200年	弥生時代 終末期	女王・卑弥呼が魏に使者を送る(238年)
300年	古墳時代 前期	奈良盆地で前方後円墳が造られる 大和政権の統一が進み、各地に前方後円墳が造られる
400年	古墳時代 中期	大仙古墳(伝仁徳陵)が造られる 須恵器の生産が始まる
500年	古墳時代 後期	筑紫国造磐井の反乱(527年) 仏教が伝来する
600年	飛鳥時代 終末期	聖徳太子が活躍する 大化の改新(645年)
710年	奈良時代	奈良に都が移る

図・写真を引用した文献

近藤 義郎 編 1990『前方後円墳集成』中国・四国編 山川出版社
 出雲考古学会編 1987『石棺式石室の研究』『古代の出雲を考える6』
 出雲考古学会編 1991『松本古墳群』『古代の出雲を考える7』
 島根県古代文化センター編 1996『いにしへの島根 ガイドブック』
 第34回山陰考古学研究会事務局編 2006『古代の隠岐』
 神原 博英 2004『周布古墳の墳丘調査』『島根考古学会誌』第20・21集合併号
 野田 久男・清水 真一 1983『日本の古代遺跡9 鳥取』保育社
 鳥取県埋蔵文化財センター編 1986『鳥取県の古墳』
 新編倉吉市史編集委員会 1996『新編倉吉市史』第1巻古代編
 角田 徳幸 1985『法勝寺川流域および日野川下流域における横穴式石室とその系譜』
 『島根考古学会誌』第2集
 近藤 哲雄 1987『東伯耆における横穴式石室の様相』『島根考古学会誌』第4集
 中原 斉・角田 徳幸 1990『鳥取県・長者ヶ平古墳の研究』『島根考古学会誌』第7集

※ このほか、各古墳については発掘調査報告書等を参考にしました。

資料提供・協力機関

- 島根県
 海士町教育委員会、飯南町教育委員会、出雲市、雲南市教育委員会、大田市教育委員会、
 邑南町教育委員会、隠岐の島町教育委員会、奥出雲町教育委員会、江津市教育委員会、知夫村教育委員会、
 西ノ島町教育委員会、浜田市教育委員会、斐川町教育委員会、益田市教育委員会、松江市、
 安来市教育委員会、島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
- 鳥取県
 岩美町教育委員会、倉吉市教育委員会、倉吉博物館、江府町教育委員会、琴浦町教育委員会、山陰考古学研究所、
 大山町教育委員会、智頭町教育委員会、鳥取市教育委員会、南部町教育委員会、伯耆町教育委員会、
 湯梨浜町教育委員会、米子市教育委員会、鳥取県立博物館、鳥取県埋蔵文化財センター